

附属機関等の名称	平成 28 年度第 1 回みよし市地域公共交通会議
開催日時	平成 28 年 4 月 26 日（火曜日） 午後 2 時から午後 3 時 50 分まで
開催場所	市役所 6 階 601・602 会議室
出席者	<p>【座長】 伊豆原浩二</p> <p>【副座長】 松本幸正</p> <p>【委員】 稲見 恒弘 野々山勝利 三浦 昭八 宮園 由佳 水野 恭幸 新谷千晶 伊藤 久司 桑原 良隆（代理瀬古） 近藤 博之 山口直毅 加藤 憲治（代理鋤柄） 古橋 靖弘（代理渡邊） 田村 滋基 高嶋 敏博 柴田 学（代理緒方） 永井 勝義 鈴木 淳 宇野 勉</p> <p>【事務局】 政策推進部長 政策推進部次長 企画政策課長 企画政策課副主幹 企画政策課主任主査</p>
問い合わせ先	<p>政策推進部企画政策課</p> <p>電話番号 0561-32-8005</p> <p>ファックス番号 0561-76 - 5021</p> <p>メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>
審議経過	<p>《議事》</p> <p>1. 座長あいさつ</p> <p>昨年度のさんさんバスの利用者数が 28 万人を超え、うれしい反面、公共交通にはいろいろな問題も起きつつあります。さんさんバスも運行開始から 17 年が経ち、改善の余地はこれからも続いていきます。このさんさんバスをよりよいものとするためにこの会議があります。この地域の人だけでなく、この地域を訪問する方のためにも、皆さんからは個人的な意見で結構ですので忌憚のないご意見を寄せていただきたいと思います。</p> <p>※本会議は、さんさんバス利用促進審議会と兼ねるものとする。</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) さんさんバスのバス停位置及びルート変更について</p> <p>《事務局説明》（資料 1）</p> <p>【座長】</p> <p>ただいま説明がありました協議事項（1）について、ご意見ご質問ございませんか。</p>

【稲見】

どのような形であれば路線変更ができますか。

【事務局】

路線変更の要望があれば、検討していきますが。

【稲見】

私どもの地域では高齢者が増加しており、地形的に坂道が多いです。地域の住民からバスをもう少し近くを通ってほしいという意見が出ております。

【事務局】

最寄りのバス停はどちらになりますか。

【稲見】

さつきちゃんNo.62 の東陣取り山です。もう少し近くまで来ていただけたらと思います。

【事務局】

資料 6 ページに各バス停、乗合タクシー乗降場から 500m 圏内が示されています。バス停から 500m 以上ある地区には乗合タクシーで対応していますが、この 500m という距離が適正なのかも、今後判断していかなくてはなりません。

【伊豆原座長】

バス停からの距離が 500m というのが妥当かどうかは、また判断する必要があります。平坦な道で 500m という距離を決めたかもしれませんが、坂道で 500m というのは少しきついと思う人もいると思います。一度地元の人とも相談していただきたいと思っています。

バス停を置くということにはいろいろ制約があつて難しいことが多々あります。そのあたりはご理解ください。

【松本副座長】

市役所西のバス停が 1 箇所を集約されることは良いと思います。ただし、乗客が乗り間違いをしないようにする必要があります。北行き、南行きの乗り間違いの内容な方法の検討をお願いします。

【事務局】

上り下りが 1 箇所になっているバス停では、乗車する前にバスの運転手から必ず行先のアナウンスを入れるようにしています。

【松本副座長】

それでよいと思いますのでよろしくをお願いします。

【伊豆原座長】

サンライブにも、市役所西バス停の市役所受付にあるのと同じバスロケーションシステムの案内板を考えていますか。

【事務局】

サンライブにも設置していきます。

【伊豆原座長】

他にご意見がなければ、協議事項1の内容については承認してよろしいですか。

《承認》

(2) 乗合タクシー乗降場の新設について

《事務局説明》(資料2)

【伊豆原座長】

ただいまの説明について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いします。

【野々山】

予定している乗合タクシーを園原地区(三好下公民館付近)にも通るようにしていただけないでしょうか。

【事務局】

乗合タクシーが通ったとしても、途中下車及び乗車はできません。

【三浦】

乗合タクシーができるのは初めてですか。

【事務局】

これまでも行っていて、資料6ページの図の中で緑色の円で囲われているのは乗合タクシーのコース図です。

【三浦】

乗合タクシーはいつも運行しているわけではないのですか。

【事務局】

乗合タクシーは運行20分前までに希望の電話が入るとタクシーが乗合バス乗降場まで向かうという形をとっていますので、いつも運行しているわけではありません。

【三浦】

わかりました。

【伊豆原座長】

他に意見がないようでしたら、乗合バスの乗降場の新設については同意としてよろしいでしょうか。

《承認》

【伊豆原座長】

それでは、サンライブ開館前日の7月1日(金)に運行開始でよろしいですね。

3. 報告事項

(1) 平成27年度さんさんバス実績報告について

《事務局説明》（資料3）

【伊豆原座長】

ただいまの報告事項（1）について、ご質問等ありましたらお願いします。

【三浦】

バスの耐用年数は10年くらいあるのではないですか。バスの故障修理があったと言われましたが、どれくらいのバスですか。

【事務局】

さんさんバスは6台のバスを365日毎日運行していますし、1日中走り続けです。故障したバスについては、運行開始から60万kmを超えていました。平成27年度購入したバスは7年目でした。平成27年度にバスを2台更新し、そのうち更新する前のバス1台はエンジン等の主要な部品をすべて交換しており、非常に調子も良かったので、市保有の6台のバスが点検等で使用できない時の予備として市が保有し、運行業者に無償貸与しています。

【三浦】

いつ買い換えるか基準がありますか。

【事務局】

バスは概ね6年又は50万kmを目途に更新しています。

お客様を乗せて走行しているので、安全第一に考えています。

【水野】

利用者が増えれば、運行負担金は減るのですか。

【事務局】

みよし市の場合は、料金を払っている乗客の割合が多いので、料金収入が増える分だけ運行負担金は減ってきます。

【水野】

もっとバスを増やすといいが、バスの台数を増やすと、経費は増えるのですか。

【事務局】

利用者が増えると、積み残しが出てきてしまう心配があります。今年度は、もし積み残しがあった場合には、運行業者から報告をもらっています。今までにも、年に数回は積み残しのあることがあります。雨の日、祭りの日、長期休暇中等です。これに伴いバスの台数を増やすと、経費が非常に増えてしまうこととなります。

【伊豆原座長】

バスが一般化してくると、乗客が平準化してきます（土曜日、日曜日の乗客が特に少ないなど）。乗客の年齢層も高齢者ばかりではなくなってきているのではないのでしょうか。運行開始時と比べて、利用形態が変わってきているのではないのでしょうか。よって、利用者の年齢層の調査もそろそろ必要なのではないのでしょうか。ただ、

あまり費用をかけてまで調査することもないのではないかと思います。

豊田厚生病院の乗降者が増えたとありましたが、病院だけでなく浄水駅の利用者もいるのではないのでしょうか。

最近高齢となり運転免許証の返納をする方が増えています。公共交通は、このような方にも役に立っているのかどうか、等を調査する必要が出てきているのではないのでしょうか。

【事務局】

最近は通勤通学での利用も推測されます。高齢者の利用も調べていますが、大掛かりだと費用がかかるので、よく検討してやっていきたいと思います。

【伊豆原座長】

なるべくお金をかけずに、市民の皆さんに喜んでいただけるような形にできればと思います。

(2) 平成27年度さんさんバス実績報告について

《事務局説明》(資料4)

【伊豆原座長】

ただいまの説明について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いします。

【松本副座長】

OD調査では、経年的に変化を取っていくのは必要かと思います。起終点についても調べるとよいかと思います。

アイモール、ベイシアに着目して、どこから確認しても良いと思います。行き帰りの両方乗っているか等です。

【鋤柄代理】

タクシー業界では、これまでも高齢者割引を実施していましたが、免許証返納者で70歳以上の方はタクシー料金を1割引きにしているので、紹介させていただきます。

【伊豆原座長】

この会議は、議題があれば年に何回も開催されます。今回発言のない方も、次回是非ご発言をお願いしたいと思います。

さんさんバスについては、運行開始から17年が経ち、転機が来ている気がします。何か起きてからの対応とするのか、事前に手を打つのか、これからの対応を考えていきたいと思います。本日の議題は以上です。

【事務局】

これで、本日のすべての議事を終了いたしました。

会議の終わりにあたりまして、政策推進部長の増岡よりごあいさつ申し上げます。

【政策推進部長】

長時間ありがとうございました。みよし市の人口は6万人を超えました。人口推計はしばらく増加をしていくものと思われます。また、現在の高齢化率は17%ですが、これも徐々に上がっていくものと思われます。

今回皆さんから頂いた意見を反映して、さんさんバスをより良いものに変えていくことは可能だと思いますので、今後も一層の利用促進に取り組み、みなさんにとって利便性の高いバスとなるよう検討を進めてまいります。みなさんのご支援をよろしくお願いいたします。本日は、どうもありがとうございました。

—閉会—